

2022年度 基本方針・事業計画

SDGsエネルギー委員会

【基本方針】

委員長 長野 大拓

(ミッション) 「エネルギーの多様性を理解し、SDGsの達成に向けた活動を推進する」

「誰一人取り残さない」それがSDGs(持続可能な開発目標)です。私たちが住む柏崎刈羽地域を見回してみると、人口減少に伴う地域の消費市場規模の縮小、少子高齢化、海岸・山間部のゴミや、環境エネルギー意識の向上など、身近なところに多くの課題が顕在化しており、持続可能な社会を作り上げるためにも、若い世代が愛着を持って暮らせるようなまちづくりが重要ではないでしょうか。同時に、地球上で起こっている自然災害、紛争、貧困が原因による悲惨な飢餓や、温暖化、海洋汚染、水質汚染、大気汚染、森林破壊などの深刻な環境問題を見過ごすことはできません。公平性の保持と人々の健康の維持、質の高い教育による技術革新から遂げる経済成長、更なる循環型社会の実現に向けて、これらを理解し合えるパートナーと共に私たち一人ひとりが主体的に行動することで、世界は変わって行くはずで

す。また、SDGsの7番には、「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」という目標があります。東日本大震災から10年以上が経過し、エネルギー体系が変化中、2030年の温室効果ガスの大幅な削減目標や2050年のカーボンニュートラルに向けて、エネルギーの多様性を理解する必要があります。

当委員会では、第6次エネルギー基本計画に基づく多様なエネルギーに対して、他団体との意見交換をすることで柏崎刈羽地域の位置付けを把握し未来を考え、そして地域の皆様と共にSDGsの達成に向けた活動を推進する場を提供いたします。さらに、実施する全ての例会がSDGsに繋がっていることを検証し、発信を行います。

・担当例会(5月)

柏崎刈羽地域の行政の方針を共有し、エネルギーに携わる企業や団体の考えを聞き、興味を持つ人材を増やす。

・担当例会(11月)

次代を担う若者と共に、住み続けたいような愛着があるまちとはどのような形であるかを考え、SDGs達成に向けた取り組みを共有する場を提供する。

・柏崎刈羽原子力発電所見学(3月)

発電の仕組みや安全対策についての理解を醸成すると共に、現在発電所がどのような立場に置かれているのか、職員の方の生の声を聞くことで、未来を考える機会とする。

・柏刈フォトアクション(通年)

SDGsに関する取り組みを多くの方からSNSで情報発信してもらうことで、柏崎刈羽地域にてSDGs達成に向けた活動を促進する。

・SDGs柏刈Action'sの管理、情報発信(通年)

ポータルサイト「SDGs柏刈Action's」の運営管理と、本会議所の情報発信を行う。

・職業講話(通年)

市内学校への講師派遣・講義等を通じて、青少年への学びの機会を提供します。